



2020年2月7日

各位

会社名 三菱マテリアル株式会社
代表者名 執行役社長 小野 直樹
(コード番号 5711 東証第1部)
問合せ先 総務部広報室長 鈴木 信行
(電話番号 03-5252-5206)

チリ国 Mantoverde 銅鉱山の権益取得に関するお知らせ

当社は、Mantos Copper Holding SpA（本社：チリ国サンティアゴ、代表者：John MacKenzie、以下「Mantos Copper社」）との間で、チリ国 Mantoverde 銅鉱山の権益の30%を当社が取得し、同鉱山が計画している拡張プロジェクトに参画することについて合意し、株式引受契約や株主間契約等の関係契約を締結することを本日決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 経緯・理由

チリ国北部アタカマ地域に位置するMantoverde銅鉱山は1995年にリーチングとSX-EW法を用いて電気銅の生産を開始し、現在まで安定的に操業しております。今般、同鉱山を運営するMantoverde S.A.（Mantos Copper社 99.99%、個人株主0.01%、以下「Mantoverde社」）は、731百万US\$（約800億円）を投じ、深部の硫化鉱を対象に選鉱場や尾鉱ダム等の建設（以下「本プロジェクト」）を計画しており、長期的かつ戦略的な新規パートナーによる同鉱山への出資を希望しておりました。

一方、当社は銅製錬原料の安定確保を目的として、優良な銅鉱山開発案件への参画に積極的に取り組んでおりますところ、本プロジェクトは、不純物の少ない高品質な銅精鉱の生産に加えて、Mantoverde銅鉱山の既存のインフラ設備を活用できること等により投資費用が抑えられる見込みであること等から、同鉱山への出資を検討し、Mantos Copper社と協議を行ってまいりました。

その結果、今般、同社と合意に至り、同鉱山の権益を取得し、本プロジェクトに参画することを決定したものです。なお、同鉱山の権益取得は、本プロジェクトの資金調達や必要な許認可の取得等を前提としており、現時点では2020年10月末までのクロージングを見込んでおります。

2. 権益取得等の概要

当社は、Mantoverde社の株式の30%を増資引受により取得することで、Mantoverde銅鉱山の権益の30%を取得します。Mantoverde社の株式30%の取得にあたり、当社は184百万US\$（約202億円）の出資並びに79百万US\$（約87億円）の出資比率見合いの建設工事費に充当される資金を拠出し、合計で263百万US\$（約289億円）を拠出します。これらにより当社が拠出する資金は、本プロジェクトに充てられます。

更に、同鉱山は、本プロジェクトの開発対象である鉱床の深部にも豊富な資源を有していることが見込まれており、同鉱山が更なる拡張のために必要な尾鉱貯蔵施設の許認可を取得した場合、当社は20百万US\$（約22億円）を追加で拠出する予定です。

なお、当社は、本プロジェクトにおける銅生産量の30%を引き取る権利を有しており、銅精鉱としてこれを引き取る予定としています。

3. 今後の予定

2020年2月7日	株式引受契約の締結
2020年10月末まで	権益取得完了、株主間契約等の締結、本プロジェクトの建設開始
2023年以降	本プロジェクトの生産開始

4. 業績に与える影響

本件が2020年3月期の当社連結業績に与える影響は軽微です。

(ご参考)

本プロジェクトの概要

- 権益保有者 Mantos Copper 社 (99.99%)、少数の個人株主 (0.01%)
(当社参画後、当社 (30%)、Mantos Copper 社 (69.99%)、少数の個人株主 (0.01%))
- 位置及び地勢 チリ国北部アタカマ地域



- 資源量 (金属量) 570 万 t
- 可採鉱量 (金属量) 210 万 t
- 採掘法 露天掘り
- 起業費 731 百万 US \$
- 生産開始 2023 年
- 銅生産量 山命計 170 万 t
- 山命 2041 年

Mantos Copper 社概要

- 設立 2015 年
- 株主 Orion Mine Finance、Audley Mining Advisors Limited
- 事業内容 Mantoverde 銅鉱山と Mantos Blancos 銅鉱山の運営
- 本社所在地 チリ国サンティアゴ
- 代表者 John MacKenzie

以上